

2022 年度実施概要

学校名

相生市立相生小学校

採択活動名

ふるさとの海となかよくなろう ～相生の牡蠣は宝物～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. ふるさとの海となかよくなろう ～相生の牡蠣は宝物～	3	総合
2.		
3.		

取り組みの概要

第一次（相生の牡蠣を調べる計画をたてよう）

- ・ふるさと相生のまちについて考えよう

牡蠣まっりの時の写真を見たり、相生（おお）のまちを歩いたりする活動を通して、自分たちのまちの素晴らしさを見つけていく。そして、牡蠣の養殖がふるさとに大きくかかわっていることから、牡蠣について調べていく計画を立てた。

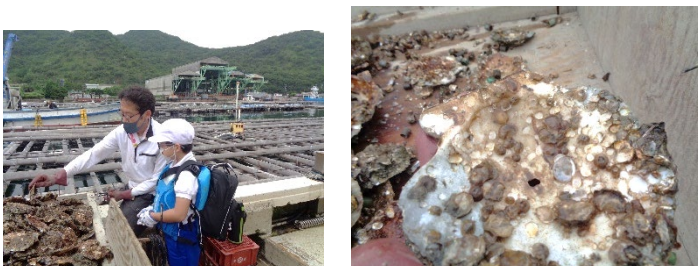
第二次（相生の牡蠣を調査しよう）

（1）牡蠣を育てよう

- ・相生市環境課の方から相生の牡蠣について話を聞き、牡蠣について知りたいことや調べてみたいことをまとめた。



- ・相生の海を知るために、ふるさとの海の生きもの調査のためにゲストティーチャーを招き、環境についての関心が高まった。
- ・相生漁業協同組合の協力で、湾の沖合での牡蠣の種付け体験を行った。漁師の方に、養殖の工夫や努力を聞いた。牡蠣の成長には、森・川・海のつながりが大切であることを学んだ。



- おわん島へ行き、漂着物（プラスチックごみ等）の調査と清掃活動を行い、プラスチックごみ等が相生の海を汚していることについて活動を通して学んだ。

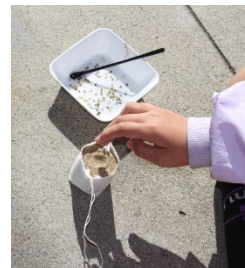


- 2月に牡蠣の収穫体験と牡蠣の工場見学を行った。工場では、牡蠣むき、牡蠣の流通などについて学び、牡蠣の試食も行った。



(2) アマモを育てよう

- 相生湾自然再生学習会議の方からアマモについて学習し、アマモの種子を植えて、発芽するまでビンの中で育て、観察した。



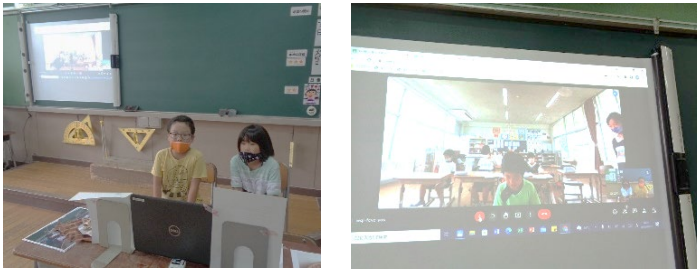
- 3月までビンの中でアマモを育てた。定植は、ビンからアマモを取り出した後、竿をつかって苗床ごと海にしずめた。定植後には、清掃活動を行った。



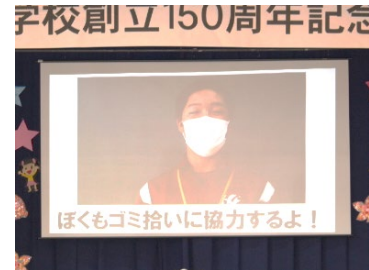
第三次 相生の牡蠣を知らせよう

(1) 牡蠣について調べたことをまとめよう

- 調べたことについて、ICT 機器（meet による通信）を活用し、山の学校の児童と交流を行った。



- 学習発表会では、相生湾や相生の牡蠣のことについて分かったことを発表した。ふるさとの海を守るための「相生の海を守り隊」を結成し、環境を守るポスターの作成・地域への掲示や中学生と協力して海を守る呼びかけなどを行った。



(2) 一年間を振り返り、課題をまとめ2年生に伝えよう

- 本校の2年生にやってきたことを伝えるだけでなく、活動を通して知った達成感や人とのつながり、地域のよさについて伝えた。

活動中の写真を2～3枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Word に貼り付けた場合も 元データの画像ファイル を提出してください。

フォルダにまとめ、ファイル名をどんな活動をしている際の写真なのかわかるよう変更してください。

フォルダ名は「2. 実施概要_写真_〇〇学校」としてください。

ご提出いただいた写真はweb サイト等で使用いたします。肖像権、著作権等にご留意ください。